

## ご参加について

定員

150名程度

対象

当該分野に関心のある学生、教職員、一般の方

年会費

一般2,000円

学生1,000円

※ご参加にあたり、「哲学プラクティス連絡会」

年会費を当日会場にて貰い受けます。

懇親会

4,000円

※当日会場にて貰い受けます。

## お申し込み方法

お申し込みフォームまたはお電話で

お申し込みください。

### お申し込みフォーム

下記URLまたはQRコードよりアクセス

<http://goo.gl/forms/cVu2HegDta>



### 電話番号

立教大学 河野哲也研究室

03-3985-3569

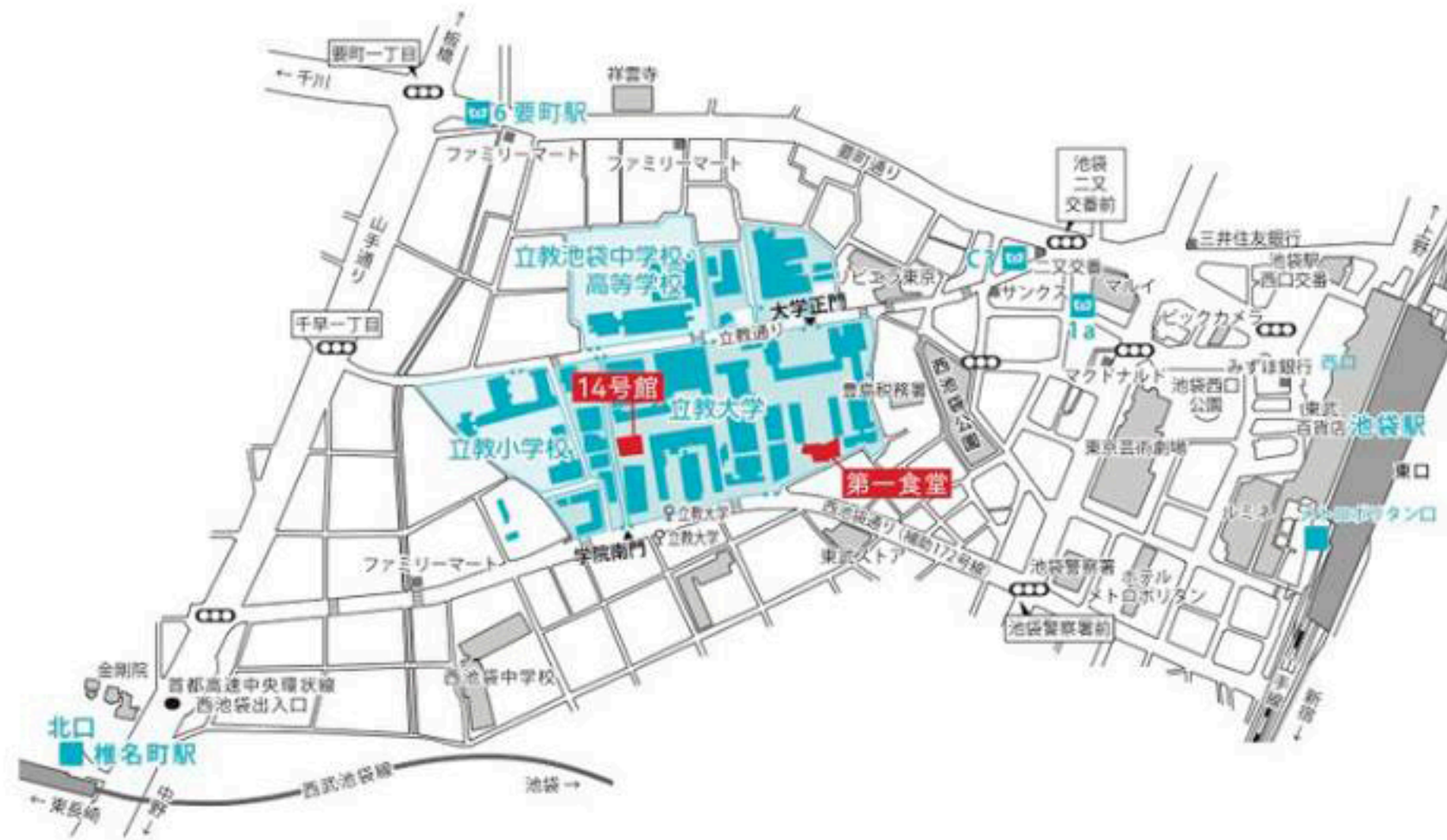
## お問い合わせ(事務局)

哲学プラクティス連絡会

[philosophical.practice.japan@gmail.com](mailto:philosophical.practice.japan@gmail.com)

立教大学 河野哲也研究室

03-3985-3569



**会場** 立教大学 池袋キャンパス 14号館 D501教室ほか  
東京都豊島区西池袋3-34-1

**アクセス** JR池袋駅・地下鉄丸ノ内線西口より徒歩10分  
西武池袋線椎名町北口より徒歩10分



哲学プラクティス連絡会 **第1回大会**  
**2015.10.18 [SUN] 10:00-17:45 (9:30受付開始)**

**メイン会場**  
立教大学 池袋キャンパス  
14号館D501教室

近年、世界各地で実施され、注目が集まる哲学プラクティス。国際学会が組織され、実践・研究・関係者間のネットワークが形成されつつあります。

そこで、このたび、日本国内における哲学プラクティスの実践・研究・関係者が集まり、活動報告および情報交換等を行うことを通じ、実践・研究をよりひろげていくことを目的に、哲学プラクティス連絡会を立ち上げ、第1回大会を実施いたします。

哲学プラクティス連絡会 第1回大会	平成27年10月18日(日) 10:00-17:45 (9:30受付開始) 受付、メイン会場：立教大学 14号館 D501教室
プログラム	
9:30-10:00	受付
10:00-10:20	基調講演 「哲学プラクティスのはじめ」 中岡成文(元・大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室 教授)
10:20-10:50	賛同人挨拶 梶谷真司(東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属 共生のための国際哲学研究センター(UTCP) センター長) 溜 剛(開智中学・高等学校 校長)
11:00-12:40	活動報告・実践報告A 「教育現場での哲学プラクティス」 ●土屋陽介(開智中学・高等学校「哲学対話」担当非常勤講師) ●中川雅道(神戸大学附属中等教育学校 教諭) ●小川泰治(早稲田大学大学院博士後期課程) ●吉村直紀(おへそ保育園 園長) 質疑応答
13:40-15:20	お昼休み 活動報告・実践報告B 「街中での哲学プラクティス」 ●松川絵里(カフェフィロ 代表) ●西村高宏(てつがくカフェ@せんだい 主宰) ●堀越 睦(さろん 運営スタッフ) ●川辺洋平(NPO法人こども哲学おとな哲学アードコーダ 代表理事) 質疑応答
15:30-16:30	ワークショップ (A・B・C 並行して開催) [立教大学 14号館 D601,D602,D603 教室] A 寺田俊郎(カフェフィロ 副代表、NPO法人こども哲学おとな哲学アードコーダ 監事) B 金澤正治(西宮市立高木小学校 教諭) C 本間直樹(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 准教授)
16:40-17:30	ラウンドテーブル 「哲学プラクティスのこれから」 ●齋藤元紀(高千穂大学人間科学部 教授) ●土屋陽介(開智中学・高等学校「哲学対話」担当非常勤講師) ●松川絵里(カフェフィロ 代表) ●金澤正治(西宮市立高木小学校 教諭) 司会 河野哲也(立教大学 教授)
17:30-17:45	閉会の辞 河野哲也(立教大学 教授)
	終了
18:00-20:00	懇親会 [立教大学 第一食堂 2階]

参加者プロフィール

**中岡成文** 元・大阪大学大学院文学研究科  
臨床哲学研究室 教授

1950年生まれ。京都大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程単位修得退学。1999年から2014年まで大阪大学大学院教授。臨床哲学研究室設立に携わる。2005年からの2年間、大阪コミュニケーションデザイン・センター初代センター長を務めた。現在は、大阪にて社会人中心の哲学塾を開催している。

**中川雅道** 神戸大学附属中等教育学校 教諭

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。学部時代からカフェフィロメンバーとして街中や高校などで哲学対話を行う。学校の中に考えるための場を作れないかと模索していたときにp4cに出会い、実践し始めた。関西の教員らとp4c-japanを立ち上げ、月1回p4c研究会を行っている。

#### ▶ カフェフィロ

2005年、大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室のメンバーを中心に設立。社会で行われている様々な活動とつながりながら、哲学カフェや対話ワークショップを提供し、市民がみずから哲学対話・議論を営むためのサポートを行っている。編著に『哲学カフェのつくりかた』(大阪大学出版会)。

#### ▶ さろん

哲学カフェを通じて集まった人たちが中心となり、2010年に設立された任意団体。「さろん哲学」(哲学カフェ)、「朝さろん」(読書会)、「さろん工房」(ワークショップ)等、思考と対話を真ん中にすえた、誰もが参加できるイベントを、主に東京都内にて開催している。

**金澤正治** 西宮市立高木小学校 教諭

大阪教育大学小学校課程社会(哲学倫理学教室)卒業。p4c-japan運営メンバー。10年前にこどもの哲学に出会い、実践を積み重ねてきた。こどもたちが語る言葉に驚きと喜びを感じている。コミュニティボールがこどもをつなぎ、クラスが居心地がいいコミュニティとなっていくことを実感している。

**梶谷真司** 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属  
共生のための国際哲学研究センター(UTCP) センター長

1966年生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究所博士後期課程修了。現在、東京大学大学院総合文化研究科教授。専門は哲学、比較文化、医学史。UTCPセンター長として、多様な「哲学対話」のプロジェクトを推進。主な著作に『シュミット現象学の根本問題―身体と感情からの思索』(京都大学学術出版会)など。

**小川泰治** 早稲田大学大学院博士後期課程

1989年生まれ。上智大学文学部哲学科卒業。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程在学。学部時代から授業などを通じ「哲学対話」に取り組み、2014年より横浜市内の小中学校にて、こどもたちと一緒に哲学している。ほか、小学校から高校まで「こども哲学」や「哲学対話」の出張授業のサポートも多数行っている。

**西村高宏** てつがくカフェ@せんだい 主宰

1969年生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。東北文化学園大学教授。専門は臨床哲学。「てつがくカフェ@せんだい」を2010年より主宰。東日本大震災後も継続して対話の場をひらいている。共著書に『ミルフィユ05 技と術』(赤々舎)、『哲学カフェのつくりかた』(大阪大学出版会)など。

**川辺洋平** NPO法人こども哲学おとな哲学  
アードコーダ 代表理事

東京学芸大学教育学部卒。(株)電通で働きながら、イラストレーターとして活動。高校時代からの哲学対話好き。電通退社後、自身のこどもと一緒に哲学対話が出来たいと思い、「アードコーダ」の活動を構想。小学校教員、幼稚園教諭、保育士の資格保持。世界経済フォーラム Global Shapers(U-33)メンバー。

**本間直樹** 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター  
准教授

大阪大学大学院文学研究科兼任。臨床哲学を専門に、哲学対話の方法論と実践、こどもの哲学、身体論のほか、映像、音楽コミュニケーションの実践的研究に取り組む。2005年にCaféPhilo(カフェフィロ)を創設、哲学カフェなどの対話活動を推進する。主な業績として、『ドキュメント臨床哲学』(大阪大学出版会)など。

**溜 剛** 開智中学・高等学校 校長

早稲田大学教育学部教育学科卒業。家庭裁判所調査官(C種・教育)として5年間勤務。埼玉第一高等学校、現・開智高等学校教諭(社会科・地歴公民科)として15年間勤務。開智中学・高等学校(中高一貫部)教頭として7年間勤務。2010年4月から開智中学・高等学校(中高一貫部)校長。

**吉村直記** おへそ保育園 園長

1985年生まれ。日本体育大学在学中に幼児教育に興味を持ち、保育コンサルティング会社に入社。1年半で50件以上の保育園の立ち上げや運営に関わる。保育園設立を検討していた(株)ミズの社長に出会い、誘いを受け、2011年に25歳で佐賀県佐賀市の民間保育園・おへそ保育園園長に就任。映画をとおし「こども哲学」に出会い、現在園をあげて取り組んでいる。

#### ▶ てつがくカフェ@せんだい

<自明なこと>からいったん身を引き離し、投げかけられる「そもそもそれって何なのか」というような適行的な問いを参加者どうしが共有し、「哲学的な対話」を通して、自分自身の考えを逞しくすることの難しさや楽しさを体験してもらう対話の場。東日本大震災後は、せんだいメディアテークにて「考えるテーブル」として行っている。

#### ▶ NPO法人こども哲学おとな哲学アードコーダ

「深く楽しく役に立つ思考の時間」を提供するNPO法人。2014年に、主に関東の街中や学校等で哲学プラクティスに取り組むメンバーが中心になり、設立。未就学児向け、小学生向け、親子向けなどの哲学対話イベントの主催や進行役の派遣、進行役をしてみたい人向けの講座開講などを行っている。

**齋藤元紀** 高千穂大学人間科学部 教授

法政大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程単位取得退学、博士(哲学)。専門は哲学・倫理学・思想史。著書に『存在の解釈学』(法政大学出版局)、『始まりのハイデガー』(見洋書房)、『現代日本の四つの危機』(講談社メチエ)。近年「高千穂大学哲学研究会バイディア」を拠点に哲学対話の活動を展開している。

**土屋陽介** 開智中学・高等学校  
「哲学対話」担当非常勤講師

茨城大学・静岡大学非常勤講師、立教大学兼任講師。千葉大学大学院社会文化科学研究科博士課程単位修得退学。専門はこども哲学、現代英米哲学。共訳書にシャロン・ケイ&ポール・トムソン『中学生からの対話する哲学教室』(玉川大学出版部)、マシュー・リップマン『探求の共同体：考えるための教室』(玉川大学出版部)など。

**松川絵里** カフェフィロ 代表

1979年生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。2010年より大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任研究員。青見サークルでの哲学カフェ、中之島哲学コレージュのほか、岡山でも哲学カフェを展開中。共訳書として『中学生からの対話する哲学教室』(玉川大学出版部)。

**堀越 睦** さろん 運営スタッフ

哲学カフェ等を主催する任意団体「さろん」の運営スタッフ。NPO法人こども哲学・おとな哲学アードコーダ 理事。本業はIT業界の会社員。2008年頃から参加していた哲学カフェの閉会にともない、有志とともに「さろん」を立ち上げ、現在はファシリテーターとしても哲学対話を楽しむ。

**寺田俊郎** カフェフィロ 副代表、NPO法人こども哲学おとな哲学  
アードコーダ 監事

上智大学文学部哲学科教授。京都大学大学院文学研究科博士後期課程(哲学)学修退学、大阪大学大学院文学研究科博士後期課程(文化形態論)修了。洛星中学・高等学校教諭、明治学院大学准教授を経て、現職。主な研究分野は近現代の実践哲学、臨床哲学。東京の街中で哲学カフェを開くほか、こどもやビジネスパーソンとの哲学対話を楽しむ。

**河野哲也** 立教大学 教授

慶應義塾大学文学研究科後期博士課程修了、博士(哲学)。専門は哲学、倫理学、教育哲学。日本哲学会理事、日本現象学会委員など複数の学会の理事・委員。著書に『「こども哲学」で対話力と思考力を育てる』(河出書房新社)、共訳書に、リップマン『探究の共同体』(玉川大学出版部)、リップマン他『子どものための哲学授業』(河出書房新社)など。